

雑草イネの省力除草体系

福島県農業総合センター 作物園芸部 稲作科

1 部門名

水稻－水稻－雑草防除

2 担当者名

渡邊和弘、吉田直史

3 要旨

雑草イネの防除は除草剤を3回散布する体系防除が基本であるが、有効剤としてピリミスルファン・フェキサスロン・フェンキトリオン(ベッカ)粒剤を用いた場合は、除草剤2回散布による省力処理が可能となる。

- (1) 1回目除草剤を植代時に*プレチアコロール(エリゾ)乳剤、2回目除草剤を移植時にピリミスルファン・フェキサスロン・フェンキトリオン(ベッカ)粒剤を散布する省力処理は、1回目除草剤を植代時にプレチアコロール(エリゾ)乳剤、2回目除草剤を移植時にピリミスルファン・フェキサスロン・フェンキトリオン(ベッカ)粒剤、3回目除草剤を移植後20日にシハロップブチル・シメトリン・ベンフルレート・MCPB(ザベックスDX)を散布する体系処理と同等の除草効果である(表1)。(※：雑草イネに効果のある成分)
- (2) 移植後46日の雑草イネの発生量は、雑草イネ有効剤無処理が60本/a、省力処理が11本/a、体系処理が7本/aである(図1)。

表1 雑草イネ防除体系

区名	移植後日数		
	-7日	0日	20日
雑草イネ有効剤無処理区		A	
雑草イネ有効剤省力処理区	B	C	
雑草イネ有効剤体系処理区	B	C	D

A:ピラゾレート粒剤:3kg/10a B:プレチアコロール乳剤:300ml/10a
 C:ピリミスルファン・フェキサスロン・フェンキトリオン粒剤:1kg/10a
 D:シハロップブチル・シメトリン・ベンフルレート・MCPB粒剤:1kg/10a

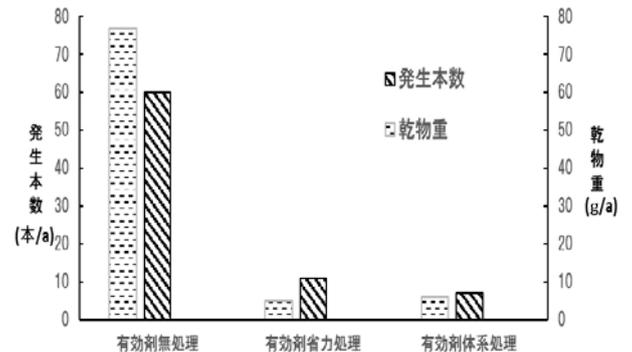


図1 雑草イネの発生量(K市)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和元年度～令和5年度
- (2) 研究課題名 寒冷地における雑草イネ省力的防除技術の開発
〔戦略的プロジェクト研究推進事業〕

5 主な参考文献・資料

- (1) 公益社団法人日本植物調節剤研究協会 技術情報 雑草イネ有効剤として実用化可能と判定された除草剤
- (2) 雑草イネ総合防除対策マニュアル 平成25年4月 (長野県雑草イネ対策チーム編)